

わたしがわたしになる学校

令和3年9月1日 発行責任者 校長 竹下 比登美



さあ、二期のスタートです！

学校長が、二期始業式に、「これからの勉強に必要な力」について話をしました。

二期の始業式、さあ、始まりますよ。今日は、これからの勉強に必要な力についてお話しします。ちょっと難しいかもしれませんが、担任の先生が後で分かりやすく説明してくれますから、聞いてください。

東京オリンピックで話題を集めたこれは何でしょう？これは、ピクトグラムと言います。これまでの勉強は、ピクトグラムという新しい知識をインプットすれば◎でしたが、これからの勉強で必要なのは、「一つの情報を知って終わるのではなく、自分なりの興味・関心を広げていくこと」です。例えば「このピクトグラムをパフォーマンスした人たちの思いはどうだったのかな？」とか「このピクトグラムは前からあったのかな？」というように。おすすめしたいのが、ピクトグラムと知ったら、その特徴とよさを知ってみるということです。そして、自分の生活経験やこれまでの知識を使って「例えばこんなこと」だと説明できるといい。説明できるということは、先ほど5年生が発表してくれた表現力ですね。例えば、「トイレに行きたい!!どこにあるの?」「人に聞いてみようかな、でも・・・相手にちゃんと伝えられるかな?相手が同じ言葉を使う人かな?相手がもしかしたら言葉の聞こえない方かもしれない?どうしよう」そんな時、ピクトグラムがあったら、人に聞かなくてもすぐに分かります。



次に、これからの勉強で必要なのは、「一つの情報から今までの自分の経験、今までの学習とのズレに気付くこと」です。



ショッピングモールや映画館に行くと非常口の表示あるけど、なぜ緑と白なのか理由があると聞いたことがあるよ。

家の周りがあるある！進入禁止とか駐車禁止とかスケボー禁止もあったなあ。



えー！色にも理由があるの？

なんか禁止が多いなあ。

禁止ではないけど最近では、コロナ感染症予防に関するピクトグラムもあったよね。換気とか手洗いとか。

というようなことです。ピクトグラムを知って終わりではなく、自分で自分の生活に合わせたピクトグラムを作った人がいました。こういう人が物事を進化させるのです。オリンピック開会式の後、ツイッター上で「ママリンピック（パパリンピック）」の競技種目として、買い物やおむつ替えをピクトグラムで表現した画像を公開され、4万余のリツイートと11万以上の「いいね」を集めました。これまで聞き慣れなかった「ピクトグラム」の6文字ですが、開会式の一晩を境に世の中にあふれています。インターネットの発達などによって、こんなふうに、これからはアツという間に世界とつながる時代、顔を見たことがなくても話せなくても世界とつながる時代なのです。だから、府小っ子の皆さんには、府中小という狭い範囲ではなく、日本は、世界は、というように目を向けてほしい。総合的な学習の時間などもそのような視点で学習が進んでいると思います。



例えば、外国の方に府中小学校の中を案内するとして、外国の方によく理解してもらうためにあなたならどうしますか？ちょっとしたピクトグラムがあると案内しやすい。でも、ピクトグラムが考えにくい部屋もありますね。さあ、そこで必要なのは、「一つの情報をもとに互いに考えを出し合うことで友達とのズレに気付いて、更に良い考えをもつこと」です。例えば、



ピクトグラムを自分たちで作らしましょうよ。形を単純にしたらいいだけだし。絵文字なら出来そう。

なんか難しくない？外国語で紹介の仕方を知ったし、僕は外国語で説明してみる。

僕はジェスチャーでやるかな。笑顔とジェスチャーで伝わったらいいんじゃない。

ジェスチャーもコミュニケーションの一つだけど、ピクトグラムにチャレンジするわ。形はシンプルで、言葉を使わなくても伝わるものを考えよう。



このように、互いに考えを出し合うことで、更に良い考えをもつことができます。

では、今日の話をもとめます。これからの勉強に必要な力は、①一つの情報を知って終わるのではなく、興味・関心を広げていく。②一つの情報からいままでの自分の経験・いままでの学習とのズレに気付くこと。③一つの情報をもとに互いに考えを出し合うことで友達とのズレに気付いて、更に良い考えをもつことです。府小っ子の皆さんが、こんな力を付けるために学校の勉強があります。1人1台ノートパソコンという新しいツールもあります。2学期、先生たちと皆さんとで頑張っていきましょう。

児童代表の言葉～頼りにされる人になれるように～

『私の忍・認・任・人』

5年 池田 菜美

4月、五年生は「忍・認・任・人」という学年目標のもとスタートしました。そして、私なりに四つの「にん」を達成するためにこの一年間の目標を考えたので、紹介します。

私は今まで、授業中発表をあまりせずみんなの意見を聞くばかりでした。府中小学校では、表現する力を大切にしています。このままでは、自分の考えを言葉にする力がつかないということに気付きました。そこで、一学期に「発表をたくさんする」という目標を立てて取り組みました。一日一回以上は発表するという具体的な目標を立てて、毎日少しずつ発表することを続けると、どんどん自分に自信がついてきました。自分の考えが間違っているかも心配になって発表できないときは、自分の考えと比べながら友達の意見を聞くと、「自分と同じ考えの人がいる」と感じて自信が持てるようになりました。毎日積み重ねることで自然と発表がたくさんできるようになりました。また、毎日続けることで一学期が終わったときには、すごく達成感を得ることができました。これこそ「ねばり強さ」「忍耐力」の「忍」だと思いました。



二学期は一学期に学習したことを生かして「認」と「任」を身に付けたいと思います。一学期に聴くスキルを高める学習をしました。私は聴くことは相手を認める「認」につながると思います。この聴くスキルをいかして、友達の意見を聞いてさらに自分の考えを深めて発表の質をあげていきたいです。また、自分の考えだけでなく友達の意見をノートに書き留めてよりよいノートを作りたいです。ノート作りに力を入れると、友達のノートを見たときに参考になったり友達のノートの良さを認めたりできます。これも「認」につながると思います。また、五年生になって委員会が始まり、当番や役割など任せられることが多くなってきました。二学期には学年全体で取り組む行事もあるので、係の仕事や委員会の仕事に責任を持ってやりきりたいです。

二学期にがんばってほしいこと～生徒指導主事より～

先生からは、この2学期に府小っ子全員で頑張ることについて二つお話しします。

頑張ることの一つ目は、「椅子に座ってチャイムを聞く」です。みなさんは授業と授業の間の5分をどのように過ごしていますか。一学期の自分を振り返ってみましょう。どのように過ごしていたでしょうか。二学期からはこの5分を「5分休憩」ととらえるのではなく、「授業準備タイム」と考えていきましょう。そうすると、この5分何をしたらよいか分かりますね。「次の授業の教科書、ノートを準備する」「ノートを開いて、線を引いたり残りのページ数を確認したりする」「トイレに行く」「お茶を飲む」「心を落ち着かせ椅子に座る」です。この「授業準備タイム」の意味をよく理解し、自分が何をすべきか考え時計を見て行動し、授業開始のチャイムは椅子に座った状態で聞きましょう。そして、落ち着いた気持ちで授業がスタートできる雰囲気を作りましょう。

頑張ることの二つ目は、「無言掃除」です。みなさん1学期は無言掃除ができましたか。二学期は、小さな声で話したり、ひそひそ話をしたりすることもせず、一言も声を出さない完全な無言掃除を頑張りましょう。府中小学校では、毎日800人以上の人達が一緒に掃除をしています。800人以上いる全員が確実に「無言」にならないと完全な無言掃除にはなりません。そのためには何が大切なのでしょう。二つ取り組んでみてください。一つ目は、「掃除前の準備」です。準備には、掃除の手順を全員が知っておくということや誰が何をするのかという掃除の分担を決めておくことなどが考えられます。掃除の仕方DVDを見たり、休憩時間に少し掃除の分担について話をしておいたりすることで掃除時間に掃除のうち合わせをしなくて済むはず。二つ目は周りの友達の動きを「よく観る」ということです。掃除の手順を知り、周りの友達が何をしているのかしっかりと観ることで、次に自分が何をしたらよいか分かるはず。友達や先生に言われなくても自分で考えて掃除をすることができれば、完全な無言掃除ができるはず。また、クラスや友達とどうしたら無言掃除が達成できるのか話し合ってみてください。また掃除時間は、大休憩終了のチャイムと同時に、掃除場所に移動し13:20～13:33まで時間いっぱいします。そして13:33からは掃除の反省をし、終わり次第教室に向かい、13:35には教室にいるようにしましょう。

そして生活全般に関わっては、まだまだ新型コロナウイルスの心配も残っています。こまめに手洗いや消毒をすること、友達とあまりひつつきすぎないようにすること、給食は準備のときから絶対にしゃべらないことなど、自分自身が気を付けることで、周りの人の命も大切にできるということを意識して過ごしましょう。

こつこつと頑張っている姿は自分自身が一番よく知っていますし、見えています。頑張っている自分のことを少しでも誇らしく思えたときに、自分の根っこは育っていると実感できると思います。二学期もぐんぐん根っこを育てていきましょう。

家庭でも根っこ育て～まずは早起き～

準備運動のような8月の登校日、児童玄関を開ける7時30分より少し前に登校してきた児童が、密を避け、間隔をあけて整然と並んでいる様子を見て、学校を楽しみに早起きしてきたのだろうと嬉しくなりました。そして、子供たちはマスクや暑さを吹き飛ばすような「おはようございます。」という気持ちの良い挨拶をしてくれました。

まだまだ夏が続く9月です。また、コロナウイルス感染症防止対策を行いながらの登校になります。まずは早起き！睡眠をしっかりとり、体調を整え、粘り強く頑張っていく後押しを引き続きお願いします。

早起き生活へ！再び

まずは早起き、今より10分早く行動しましょう。

8時10分までに学習の準備や荷物の整理を行うために、余裕をもって教室に入るようにしましょう。



教職員も熱く、根っこ育て～学び続ける教職員～

私たち教職員は授業で子供たちに力を付けていくことが本分です。今私たち教職員は長期休業の間、研修をしたり学校の整備をしたりします。

この夏は、メンタルヘルス、学習評価、読書活動について互いに講師となり学び合いました。また、各図書コーナーやトイレを掃除し、夏休みを終えて登校する子供たちを迎える準備をしました。今後子供たちの根っこを育てるため、自分を磨き、学校を磨き、学び続ける教職員であり続けます。



各学年の目指す姿を発表



呼吸を整えて

教職員も学び合い！

読書活動について



1冊1冊本を拭き、隅々まで磨いて

トイレの床をピカピカに

引き続き健康マイレージ制度へご協力ください

府中町が、健康意識の向上と健康的な生活習慣の定着を促し、生き生きと健康な生活を送るために実施している健康マイレージ制度に2か月取り組んでいただきました。お配りしたポイントカードはもう学校へ提出していただいただけでしょうか。皆さんが健康づくりに取り組み、ポイントをためることで、府中小学校の教育活動に活用できる報奨金をもらえます。ポイントは、希望団体へ寄付する制度となっております。ぜひ、引き続き9月もご家族で取り組んでいただき、府中小PTAにご協力ください。7・8月分をまだ提出されていないご家庭は、まだ受け付けておりますので我が子を通してご提出ください。よろしくお願いします。



二学期もわくわくの図書コーナー

西校舎2階がさらにわくわくする場所になりました。

夏季休業中に図書ボランティアさんが、西校舎の2階廊下を「創造の森」「未知との遭遇」のイメージを膨らませ、ペイントしてくださいました。「創造の森」は調べ学習の拠点にふさわしく知識の実りを感じさせる壁面へ、「未知との遭遇」はより生命や宇宙の不思議を感じさせる壁面へとリニューアルしています。本の妖精が分類を分かりやすく示してくれているので、ますます通いたくなること間違いありません。たくさんの本が夏休み明けの府小っ子を待っています。



ありがとうございます！府小っ子のために

地域にお住いの中村由利江さんから、子供たちに使ってほしいと百科事典5冊の寄付がありました。項目ごとに解説文が書いてあり、語彙を定義してある百科事典に触れることは、子供たちの語彙力を高めるよい機会となります。この百科事典は図書室に置いて活用していきます。

また、地域にお住いの小山さんが、22個の手作りのブックスタンドを寄付してくださいました。いのちの本棚や各図書コーナーで使わせていただきます。府小っ子のために、ありがとうございました。



受け継がれる府小っ子への思い

夏休みのある日。職員室からふと外をみると、真夏日にもかかわらずスタンドで一生懸命草を抜いてくださっている人がいました。声をかけてみると、府中小学校を卒業した大学生の方で、小学生の時、好きだった場所を懐かしい気持ちで歩いていると、草が気になりきれいにしたいと思い立ったとのこと。府中小学校は、府中小学校を大切に思ってくださいる地域の方にいつも支えていただいています。本当にありがとうございます。

